

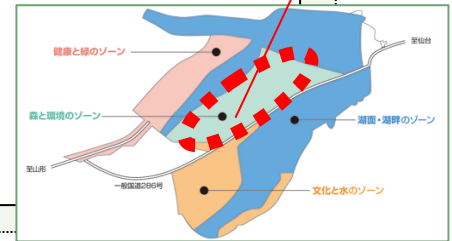


みちのく森の楽校だより 第1回

みちのく公園「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



4月25日(土) 晴れ 平成27年度 森の楽校 開講！

平成25年度から開講した「森の楽校」は、今年で3年目。6組20名の年間会員さんをお迎えしました。みちのく公園里山地区で、1年を通して、遊んで、学んで、楽しんで、いろいろな里山体験します。若葉が芽吹く、春まっさかりの里山へご案内しました。

春の里山 スミレいろいろ

この里山の特徴は、生物が多様なことです！

公園が太平洋側にあるにもかかわらず、雪の多い日本海側に特有の植物が生育しています。

また、北限となるの暖かい地方の植物が生え、暖かい暖帯から冷涼な温帯への移行帯の植物相となっていることから、いろいろな生物がいるのです。

そのひとつにスミレがあります。みちのく公園里山地区には、こんなにいろいろなスミレが生えているのです！

よく見ると、花の形、花の色、葉っぱの形も違いますね！



タチツボスミレ



ナガハシスミレ



アオイスミレ



アカネスミレ



アケボノスミレ



マキノスミレ

しいたけ収穫！

里山ではキノコ栽培をしています。森の楽校のスギ林の中に、ホダ木を寝かせています。

このホダ木にコマ打ちしたのは、平成23年の12月、初年度の会員活動の中です。あれから1年半がたち、いよいよしいたけが生えてきました！



ジャガイモの植え付け

小野分校脇にある小さな畑。始めたばかりのため、肥料分も柔らかさも、まったく足りないひどい状態の畑です。そんな中、まず、ジャガイモを植え付けました。



木こり体験

初めての会員には、里山体験の醍醐味である木こり体験をしてもらいます。今日は、新人の子どもが3名、大人が1名、里山ボランティアの指導で、手のこでスギの木を倒しました。

倒す方向を決めて、その方向に合わせて正確に「受け口」を作ります。次に、「追い口」を切り進め、伐倒しました！



森の太極拳

里山地区に遊びにいらしたお二人とお話したら、なんと、仙台市内で太極拳の講師をされているそうです。

この里山のさわやかな空気の中で、太極拳を体験してみようという話になり、教えていただきました。中高年中心の里山ボランティアですので、ポーズもおぼつきませんが、気持ちのよいものでした。



次回、第2回「森の楽校」は5月9日（土）、春の里山を楽しみます。
5月30日（土）には開園1周年記念イベントを開催します。